

4 外資系 婦人バック・靴 製造・小売業 D 社

1 B 社 => 発展会計

本社 5 名にて、分散入力システムとして利用。導入の経緯は、事務所移転に際しサーバーを破損、データが消える事故が起きた。データのセキュリティ・バックアップ管理からクラウド型を採用。国内、50 店舗を部門別に管理し管理会計を徹底。外資系のため、試算表を全て英語表記し入力。香港のアジア本部と財務データを共有。

1 導入前課題

- サーバーの破損により、タイムリーにネットワーク型の会計システム導入が必要。他のベンダーは、納期に 1 ヶ月くらい掛る。
- コストは掛けたくない
- 英文の科目体系対応が必要

2 提案ポイント

- 最短 1 日で納品可能
- 初期投資ゼロ、契約期間 1 年
- 充実の部門機能

3 導入後効果

- 科目を全て英文に直し、香港のアジア統括とデータ共有
- データのバックアップ、セキュリティ効果（ストレージ機能）